

広島市立大学 科学教室

「広島市立大学 科学教室」は広島市立大学の教員と学生の有志による、小学生から高校生を対象とした科学教室です（教員2名、学生10名）。科学原理をテーマとして身近にある材料を使った工作や実験をとおして理科好きの子供を増やし、広島県の児童生徒の文化活動の振興ならびに将来の科学技術の振興に資することを目的としています。科学原理については中学校から大学レベルの内容についても学習します。

【テーマ】（令和5年度）



レモン電池



しゃぼん玉



ホバークラフト

- ・「レモン電池」…レモンに自作の導線を刺すことで電池を作り、LEDを光らせたり電卓を動かす。酸化・還元について学ぶ。小学校高学年以上。
- ・「しゃぼん玉」…形が変わったしゃぼん玉を作ったり、人が入れるしゃぼん玉で遊ぶ。表面張力について学ぶ。小学校低学年以上。
- ・「ホバークラフト」…カップ麺のカップとモーターを使ってホバークラフトを作る。パスカルの原理について学ぶ。小学校高学年以上。

【開催方法】

1教室あたりの授業時間は約90分、1日1～3教室開催することも可能です。定員は1教室あたり15～35人程度。学校では平日、公民館などでは休日開催します。

費用は無料ですが、別途材料費が必要な場合があります。

本学学生が学校や公民館などへ訪問、または児童・生徒に来学していただいて開催します。

来学していただいた場合は、研究室の見学会や学内の見学会も可能です。

本事業は「くらりか（東京工業大学同窓会 理科教室）」の支援を受けています。

申込先：広島市立大学 社会連携センター

〒731-3194 広島市安佐南区大塚東 3-4-1

E-mail：office-shakai@m.hiroshima-cu.ac.jp

電話：082-830-1764

FAX：082-830-1555